

GRANDCUBE

Osaka International Convention Center

PRESS

Vol.35 2022 Autumn

特集

「総合知で、超えていく」
日本最大の公立大学誕生
大阪公立大学

公立大学法人大阪
理事長 西澤 良記

大阪公立大学
学長 辰巳砂 昌弘



日本最大の公立大学、
大阪に誕生!
「総合知で、超えていく大学。」
議論の始まりから約10年、
2022年4月ついに開学!
大阪の新しい「知の拠点」、
大阪公立大学を特集します!!

それぞれ約140年の歴史を誇る、大阪府立大学と大阪市立大学が今年の4月に統合され、「大阪公立大学」が開学しました。新大学の益々の発展を祈念しまして、開学から半年が過ぎた今、西澤理事長と辰巳砂学長にめざす大学像や今後の展開についてお話ししいただきます。

大学・高専の運営をめざして

高度人材の育成に資する 大阪の発展、知の創成、

公立大学法人大阪
理事長 西澤 良記
Yoshiki Nishizawa



新型コロナウイルスによる影響が世界を騒がせております昨今、一日も早い終息と、皆さまのつつかない日常生活をお過ごしされますよう願ってやみません。

2022年4月、大阪府立大学と大阪市立大学が統合し、大阪公立大学（おおさかこうりつだいがく／Osaka Metropolitan University）が新たに誕生しました。この大阪の地にてそれぞれ140年以上の歴史を重ねてきた2つの大学の「知」を融合し、「現代システム科学・文・法・経済・商・理・工・農・獣医・医・看護・生活科学」といった12の学部・学域、また15の大学院研究科を擁する、幅広い学問領域かつ日本最大規模の公立大学になります。

両大学がもつ各分野の強みを結集して世界に展開する高度研究型大学を目指すとともに、大阪の発展を牽引する「知の拠点」として高度な融合研究を展開していく所存です。また、設立団体である大阪府・大阪市との緊密な連携の下、「都市シンクタンク」「技術インキュベーション」の2つの新たな機能を充実・強化することにより、従来の“公立大学”的枠を超えた大都市・大阪の発展に貢献する

知の拠点をめざします。

ここまで道のりは長く、もう10年近くとなります。私が大阪市立大学の学長を務めていた2011年ごろに議論がはじまり、学内外で数えきれないほどの議論を重ねてまいりました。大阪府・大阪市と両大学の4者で協議を重ね、2017年大阪府議会、2018年大阪市会での可決を受け、2019年4月には旧公立大学法人大阪府立大学と旧公立大学法人大阪市立大学を新設合併し、私が理事長を拝命する運営法人「公立大学法人大阪」を設立。その後、2020年に「新大学基本構想」策定、2021年に設置申請・認可へと至ります。その後も開学を目指して様々な準備を重ねてまいりました。私自身もその時々の大坂府知事、大阪市長はじめ関係の皆さんと数多くのディスカッションをさせていただきました。「良い大学を作ろう」と知事、市長におっしゃっていただき、様々なご支援を頂きながら歩みを続け、今があるのだと感謝しております。

また、大阪公立大学の開学に合わせて、寝屋川に設置しております「大阪府立大学

工業高等専門学校」も「大阪公立大学工業高等専門学校」に校名変更し、学生や研究者の益となるよう、大阪公立大学とのさらなる連携を推進しています。

今後とも、大阪の発展、知の創成、良い人材育成に資する大学・高専の運営を目指し、辰巳砂 昌弘 大阪公立大学長、東 健司 高専校長とともに、教職員一同、連携と努力を重ねてまいります。ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「総合知で、超えていく」 大阪公立大学の特色と 今後の展開

大阪公立大学

学長 辰巳砂 昌弘

Masahiro Tatsumisago

いよいよ2022年4月に大阪公立大学が開学し、そしてこの取材時点では開学から半年が経ちました。学長としてはひと呼吸を入れ、改めて周りを見渡し様々な課題について思慮しているところです。

学生数がそれぞれ約8,000人の大阪府立大学(以下、「府大」)、大阪市立大学(以下、「市大」)を統合し、大阪公立大学は学部学生入学定員数が約2,850人の大学となりました。この定員数は、国公立大学の中で3番目の規模となります。現時点では学部・学域1年生のみが大阪公立大学の学生で、2年生以上は府大や市大の学生が在籍する形となり、一定期間は3大学が併存します。私自身も大阪公立大学長に加え、府大学長と市大学長も兼務しておりますので、その強みや文化の異なる3大学を出来る限り一體的に運営し、それぞれの大学の学生がこの環境下による多様性を活かしつつ、良質の学びを得られるよう努めてまいります。

完成年度を迎える、ほぼすべての学生が大阪公立大学の学部・学域生、大学院生となった際は、総学生数が約16,000人の大学となる予定です。アジアの主たる都市に所在する研究型大学は10,000人を超える学生規模を有しており、大阪公立大学も世界的なプレゼンスを高めていく上では組織における「規模」が必要だと判断しました。また、「規模」については組織(数)だけではなく、研究分野における「規模」も必要と考え、統合を進めています。幸い、府大と市大の研究教育組織は重複分野が殆ど無く、お互い「相補的」な学問分野構成でした。統合したことでのフルラインナップの幅広い学問領域が揃う、12の学部・学域、また15の大学院研究科からなる強力な研究教育組織となりました。同種分野は集約することを基本とし、農学部・獣医学部・看護学部を学部として独立させました。また、大学院組織として「情報学研究科」を新設しています。



「知」は教育・研究・社会貢献を通じて、継承・創造・活用されていきますが、大阪公立大学が育てたい人材像として、「いつでも新しい学びに取り組める人」「多様な価値観の存在を尊重し合える人」「困難な課題にチャレンジしていく人」の3つを学内外で話しています。また、その人材育成に向けて大阪公立大学は「総合知」と「共創」に重点を置き、大切にしていきたいと考えています。大阪公立大学の各キャンパスは、産業界、行政、市民、民間、研究機関、国内外他大学など様々な産学官民のステークホルダーが常に集い交流し、課題設定や実証プロジェクトなどが活発に行われる、賑わいのあるキャンパスであって欲しいと願っています。産学官民で「共創」し、「総合知」を活かして探り・試し・創り・そして学んでいくことを通じ、共に社会課題に挑み解決していく過程で人材が育つ「リビングラボ」でありたいと構想しています。そこで、そのような新しい社会を創造するためのイノベーションエコシステム拠点の構想を、産学官民共創リビングラボ「イノベーションアカデミー」構想として取りまとめて公表し、企業や行政など様々な関係先に支援や協力を呼び掛けているところです。

「総合知で、超えていく」という合言葉のとおり、人と人との関わりが生み出す共創と総合知で、世代を超えて、学生や企業といった属性を超え、様々な「新たな社会の創造」が、大阪から世界へと拡がり、超えていきたいと考えています。そのような教育・研究の好循環によって「持続可能な社会・くらし」、「人々のwell-being」に貢献できる大学を

目指します。well-beingに貢献することが目的として重要で、そこに向かうための「総合知」です。総合知にこだわった教育・研究に取り組みます。また、これまでの両大学で培われてきた強みのある研究分野や研究センターを継承していくとともに、分野融合を促進する研究推進体制を整えております。例えば医学と獣医学の連携、医学と工学の連携、また例えば農学・理学・獣医学・医学・工学が連携した創薬科学領域など、様々な分野融合研究を進めたいと考えています。

さらに、大阪・関西万博開催と同じ2025年に、大阪城東側の森之宮北地区に「森之宮キャンパス」を開設する予定です。森之宮地区は、文化・観光・学術・交流機能が集積し、良好な交通アクセスかつ大阪の東西都市軸となる東部の重要な拠点。キャンパスコンセプトを「知の森」とし、この地に数千人の教職員・学生が集うメインキャンパスを造ることで、様々な人が集えるように計画しています。地域住民・企業との連携・コミュニケーションを促し、イノベーションを生み出す「次世代キャンパスシティ」となることを目指しています。現状の阿倍野、杉本、中百舌鳥、羽曳野、りんくうの5つのキャンパスに加え、森之宮キャンパスが開設した折には、ぜひとも足を運んでいただければ幸いです。

「総合知で、超えていく、大阪公立大学」。大阪を基盤とし、世界で活躍する人材と研究成果を輩出していく所存です。ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

EVENT INFORMATION

グランキューブ大阪で今後開催予定のイベントをご紹介します。

COMING-UP [開催予定]

2022. 11/3

世界がん撲滅サミット2022 in Osaka

本会議は、医療だけでなく政・財・官、そして患者の皆様、ご家族の皆様と共にまずオールジャパンでがん撲滅に向けて取り組むことを目的としております。

第8回目となる今大会のテーマは『今、大阪から世界に広がるがん未来医療への挑戦！不可能の壁に風穴を開ける！』と致しました。

来るべき未来医療の時代に備えて人類の未来を拓く先端医療を中心に、そのトップリーダーにご講演をいただきたいと存じます。もちろん目玉企画の公開セカンドオピニオンも開催させていただきます。

もう、がん撲滅は日本人だけの戦いではありません。人類全体の戦いにしなければなりません。「いのち輝く未来社会に向けて」という理念を掲げる2025年の大阪・関西万博の会場となる、ここ大阪の地で、私共はそれを実感していただける大会にして参ります。



イベントカレンダー
<https://www.gco.co.jp/event/>



2022. 11/30 サラ・ブライトマン来日公演 世界中で話題の『クリスマス・シンフォニー』 コンサート、日本初開催決定! スペシャルゲストとしてYOSHIKIが出演

世界で最も売れているソプラノ歌手であり、グラミー賞にもノミネートされた世界的アーティスト、サラ・ブライトマンが来日し、最高のクリスマスイベント「クリスマス・シンフォニー」をお届けします。

来日公演は、オーケストラと合唱団との共演に加え、かねてから親交の深い世界を股に掛け活動する作詞家、作曲家、ピアニストであるYOSHIKIを特別ゲストに迎え東京、名古屋、大阪で開催されます。



2022. 12/25 第2回全国高校軽音楽部大会「we are SNEAKER AGES」全国大会

「we are SNEAKER AGES」は、軽音楽系クラブに所属する高校生に発表の機会と、クラブ全体の目標となる舞台を、という想いで1979年に関西でスタート致しました。

2015年からは関東大会がスタートし、以降開催地域を拡大、そして昨年度、ついに初の「全国大会」として実施。北は北海道、南は沖縄より、全国の軽音楽部が集い、「大谷高等学校軽音楽部(京都府)」のグランプリ受賞で、第1回大会の幕を閉じました。

本年度も、全国から各地区の代表校15校が集まり、個性溢れる、想いの込もった演奏を繰り広げます。

また、本大会は第1回大会より、男性ボーカルグループGReeeNの楽曲「青焰」が大会テーマソングに。加えて、本年は、様々なメディアミックス展開で注目を集める、次世代ガールズバンドプロジェクト「BanG Dream!(バンドリ!)」の声優陣が各地区の選考員として参加くださるなど、様々な応援をいただいております。大会の模様は、動画配信サービスYouTubeでの配信を予定しております。全国の軽音楽部の演奏を、是非ご覧下さい！(一般観覧案内は未定、詳細は主催者へお問い合わせください)



Photo by 産経新聞社

FINISHED [会期終了]

2022. 4/26 2年2ヶ月ぶりに国際会議を開催～JITCO人材セミナー～

4月26日、フィリピン労働雇用大臣ご列席の下、JITCOフィリピン人材セミナーが開催されました。この会議は、新型コロナウイルス感染症により中断していた当会議場の国際会議の復活第1号となりました。

また、9月8日には、ベトナム労働・傷病兵・社会省大臣をお迎えし、『コロナ後のベトナム人材の派遣促進について』をテーマにベトナム政府、JITCO共催セミナーが当会議場で開催されました。 ※JITCO=(公財)国際人材協力機構

2022. 7/15-17

日本補綴歯科学会初めてのコロナ禍を吹き飛ばすハイブリッド開催 (公社)日本補綴歯科学会第131回学術大会

「補綴の未来、歯科の未来。Society 5.0に向けたイノベーションの創出」をテーマに、万全な感染対策による対面開催と一部ライブ配信を併用したハイブリッド形式で、第131回学術大会が開催されました。AIやデジタル技術、先端バイオロジーなどの最新知見はもと

より、口腔機能と認知症や栄養に関する学際的な内容を楽しめる魅力的な企画が満載でした。特徴的であったのは、本学会初めての有料ハンズオンセミナーが設けられ、高度な臨床技術を習得できる機会が提供されたことでした。日本補綴歯科学会と日本臨床歯科学会(SJCD)が連携協定を締結した記念すべき大会でもあり、3,000名を超える方にご参加いただき、盛会となりました。大阪国際会議場のご担当の方々に感謝を申し上げます。

(公社)日本補綴歯科学会第131回学術大会 大会長 岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野・教授 窪木 拓男



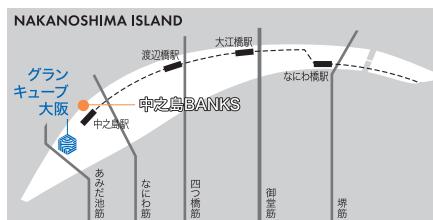
NAKANOSHIMA BUSINESS FRONTLINE



NAKANO SHIMA BANKS

大阪・中之島にある川縁の水上複合施設「NAKANOSHIMA BANKS」。大阪の真ん中に位置しながらすぐそばの喧騒を忘れてしまうほど、心地良い穏やかな空気がこの場所には流れています。秋晴れの日に、水辺ならではの解放感を味わいながら、素敵なお店へおじやましてきました。

(営業部企画課 田中智子)



Patagonia Surf Osaka/Outlet



基本情報 グローバルで展開しているアウトドア企業で、ここは「サーフィン」をコンセプトにしたお店です。

おすすめ 天然由来ウエットスーツがおすすめ! これだけのラインナップがあるのは西日本ではここだけとのことです。

メッセージ サーフィン用の製品のみならず、それ以外のアウトドア製品、また直営店では珍しいアウトレット製品の展開もあるので、たくさんのお客様に楽しんでいただけると思います。サーファーの方はぜひお越しください!

【OPEN】月～金 12:00～19:00
土日祝 11:00～18:00
【CLOSE】毎月第3水曜日

THE WARMTHCRAFTS-MANUFACTURE



基本情報 希少なコードバンとホースハイドをメイン素材に、鞄や小物を自社製作する馬革専門の上質なブランド。「革のダイヤモンド」と称される美しいコードバン(馬臀部の革)は、唯一無二の滑らかで艶やかな独特の質感が多くの人を魅了し、耐久性にも優れているため長年愛用されるお客様も多いんだとか。

メッセージ 堂島川を望むBANKS施設内にあるブランドの旗艦店は、かつて革づくりには欠かせなかった「川」をオマージュしています。隅々にまで拘りをもった店内では、ブランドの世界観を存分に味わっていただけます。

【OPEN】11:00～19:30
【CLOSE】毎週木曜日(祝日の場合は営業)

&ISLAND NAKANOSHIMA



基本情報 川辺をお散歩しているときにふらっと立ち寄っていただける、リラックス出来る場所をコンセプトに、カジュアルだけど小洒落たお料理を提供しているカフェ。

おすすめ 名物はローストビーフ丼。アイランドラしく一捻りした、季節替わりのオーバーライスもおすすめです。

メッセージ 都会の日常から離れたリラックスできる場所なので一度足を運んでみてください。

【OPEN】11:00～22:00(LO 21:00)
【CLOSE】不定休

BAR BANKS & ROSIER CRUISE SERVICE



基本情報 上質な大人の遊び場、憩いの場というテーマで19時からオープンしている孤高のバー。

おすすめ 事前予約でお昼のちょっとしたパーティーやクルーズサービスも楽しむことができます。雰囲気がある店内でオーナー厳選のドリンクが楽しめます。

メッセージ 昼間とは違う、夜の水辺の世界を楽しんでいただけるかなと思います。

【OPEN】19:00～翌am2:00
(御予約によりお昼も営業しております)
【CLOSE】不定休

NAKANOSHIMA TERRACE #AND ME

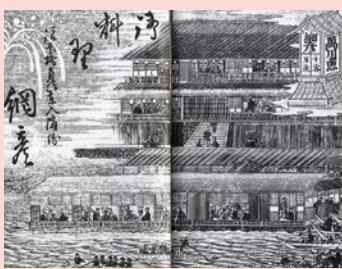


基本情報 川に浮かぶ珍しい挙式会場で、都会の喧騒から離れた、スローウエディングを楽しんでいただけます。

特徴 結婚式ではNAKANOSHIMA BANKSの皆さん協力してくださるようで、過去にはお客様のご希望で遊歩道に車を置いたり、BAR BANKSオーナーのクルーズで新郎新婦登場の演出をしました。お料理は「生産者さんの顔が見えるお料理」というのを大切にされ、こだわって食材を選んでいます。企業のパーティーや宴会などでもお料理を提供していただけるようです。

【OPEN】12:00～18:30 土日祝 10:00～19:00
【CLOSE】毎週火曜・水曜

いかがでしたか。いろんな季節、時間を、ぜひNAKANOSHIMA BANKSでお楽しみください。



明治21年刊行「大阪市中近傍案内」より。
北浜から築地辺りの料理屋を描いた絵図。
[図版提供:橋爪(紳也コレクション)]



中之島バンクス設置前の堂島川沿いの様子
[画像提供:株式会社大阪国際会議場]

大阪の「水都再生」に深く関わって、20年以上が経過した。
明治30年代以降、大阪は「水都」のブランドを得て発展を見る。特に中之島界隈は、ベネチアやパリと比肩される美観が評価された。しかし戦後、防災のための堤防が各川筋に築かれ、川面を塞ぐよう高速道路が整備された。工場排水や生活下水で道路が汚染されたこともあり、私たちの意識は川筋から離れた。「水都」は過去のものとなっていた。

「水都再生」に向けた機運が高まるのは90年代以降のことだ。1995年に「大阪リバーフロント整備のグランドデザイン」が、ついで大阪市計画局の「新水の都大阪グランドデザイン」がとりまとめられる。さらに2001年12月、政府は「水の都大阪」の再生事業を都市再生プロジェクトに認定する。これを受けて、大阪府、大阪市、経済界は「水の都大阪再生協議会」を設置、「水の都大阪再生構想」がまとめられる。私も構想のとりまとめにアドバイザーとして参画した。

その後、河川法の準則緩和を受けて、その後、河川法の準則緩和を受けて、

「水都再生」の本質は私たちの暮らしの再生にある。水辺を人々が交流する場、憩いの場、そして賑わいの生まれる場として、都市内を流れる河川への意識を取り戻すことにあると私は確信している。

一步となつたのが2009年8月に運用が始まった「中之島バンクス」である。堂島大橋から玉江橋まで、京阪中之島線建設の復旧工事に併せて生み出された全長400mの河川敷を親水空間として再生、コンベによって事業者を選定の上、飲食や物販の店の営業を認可した。

「水都再生」の本質は私たちの暮らしの再生にある。水辺を人々が交流する場、憩いの場、そして賑わいの生まれる場として、都市内を流れる河川への意識を取り戻すことにあると私は確信している。



水都再生と 中之島BANKS

NAKANOSHIMA TRIVIA

第10回



橋爪紳也 Shinya Hashizume

大阪公立大学研究推進機構特別教授
大阪公立大学観光産業戦略研究所長

4/1[金] 「SDGs推進基本指針」に基づく 取組みを開始

昨年3月に定めた当社「SDGs推進基本指針」に基づき、地球環境の保全や地域社会への貢献を一層推進する取組みをはじめました。

SDGs推進基本指針

2つの目標

- I 國際会議の誘致・開催を加速化
SDGsの取組みを通じ国際競争力を高め、国際会議誘致を促進
- II 『中之島・地域社会の輝きへの一層の貢献』
SDGsの観点から社会貢献活動をさらに推進

3つの取組み

- 1 ハード(施設)面での取組み
最新技術で多面的に国際会議をサポートするとともに 施設のバリアフリー化、エネルギー効率の向上を進める
- 2 ソフト(サービス)面での取組み
多様性を受け容れるユーバーサルマナー等に沿ったサービスの提供
- 3 社内における取組み
ワーク・ライフバランスのもと 一人ひとりが輝き イキイキ ワクワクと働ける職場の実現

5/10[火] 「美化強化デー」の 清掃活動スタート

大阪市環境局の呼びかけに応じて、グランキューブ周辺の清掃活動を開始しました。原則として毎月1日に社員による周辺の道路清掃を実施しています。



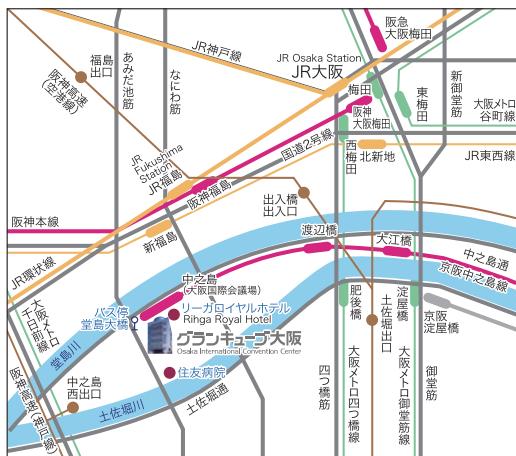
8/29[月] 3年ぶりに 「中之島なつまつり」を開催

2019年以来、3年ぶりに「中之島なつまつり」がグランキューブ大阪1階プラザと中之島バンクスにて開催されました!会場入り口には検温、消毒ゲートを設けるなど、感染防止対策を講じ、約5,000名にお越しいただきました!河内屋菊水丸さんによる河内音頭が元気よく流れるなか、輪になって踊る方や、屋台やキッチンカーで軽食をとる方、皆様、それぞれにお楽しみいただきました。



9/1[木] 主催者支援サービスについて JTBと包括連携協定締結

当館にて開催される国際会議、展示会等の主催者様を支援する各種サービスを株式会社JTB西日本MICE事業部と連携して提供することになりました。主催者様や来館者様の利便性向上と中之島エリア活性化をめざし、サービス強化のため協議を進めて参ります。



(電車)

- 京阪中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- JR東西線「新福島駅」(2・3番出口)から徒歩約10分
- 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

(バス)

- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪シティバス(53系統 船津橋行)
または(55系統 鶴町四丁目行)で約15分、「堂島大橋」バス停下車すぐ
- シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行しており、ご利用いただけます(定員28名)
- 中之島ループバス「ふらら」で地下鉄・京阪「淀屋橋駅」(4番出口・住友ビル前)から約15分

株式会社 大阪国際会議場

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号
Tel.06(4803)5555(代表) Fax.06(4803)5620



GRANDCUBE PRESSは、地球にやさしい広報誌。
この印刷物は環境に配慮した植物油インクを使用しています。